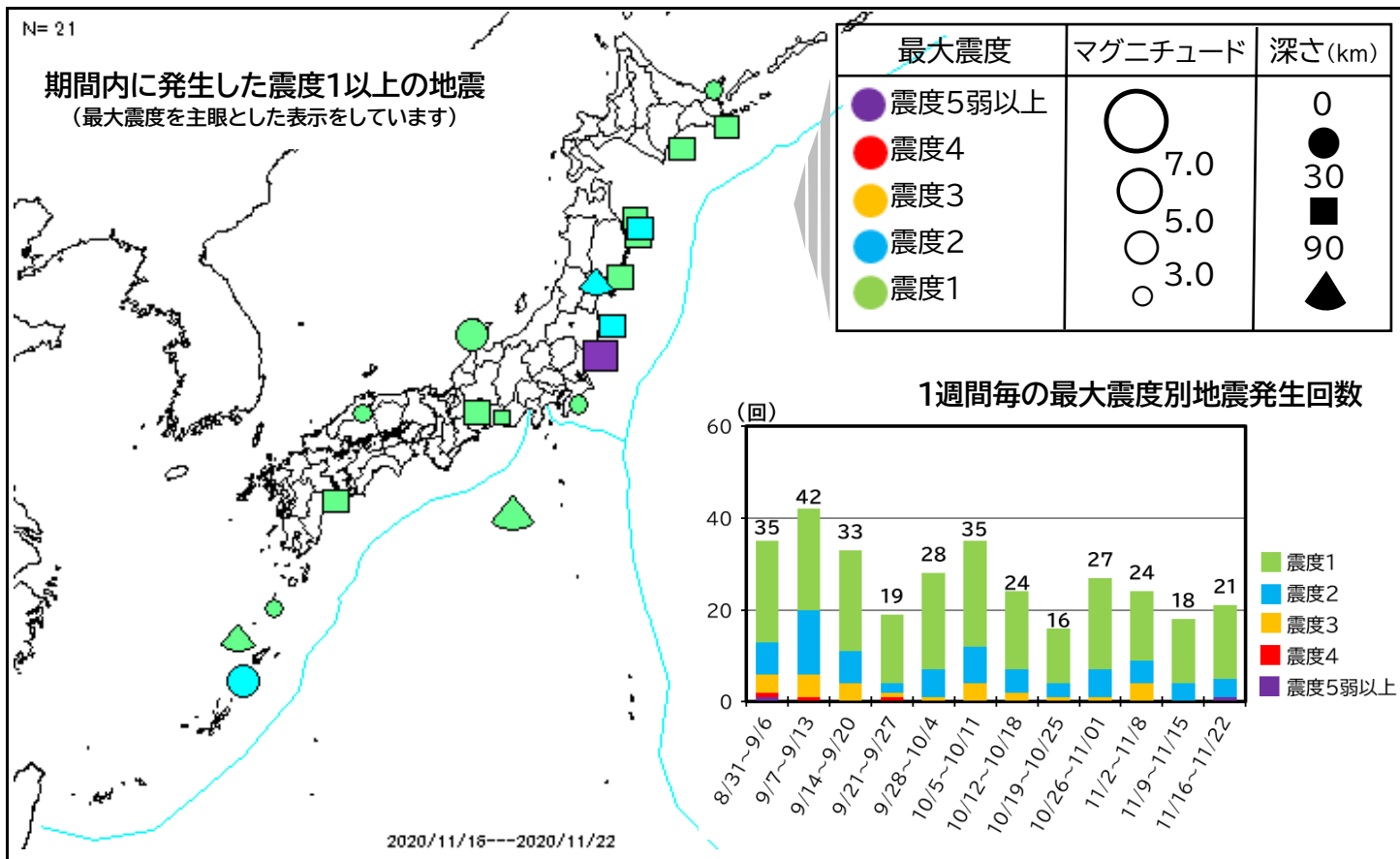


この期間の最大震度は5弱(茨城県沖)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が21回発生。最大震度は茨城県東海村で5弱■
- ・22日19時06分に茨城県沖で発生した地震(M5.7、深さ45km)により、茨城県東海村で震度5弱を観測。この地震は東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生したもので、太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した逆断層型。
- ・茨城県内で震度5弱以上を観測したのは、2016年12月28日に茨城県北部で発生した地震(M6.3、深さ11km)により高萩市で震度6弱、日立市で5強を観測して以来。

トピックス

■ 北伊豆地震 ■ (この週の日が発生した過去の被害地震)

- ・1930(S5)年11月26日明け方、静岡県伊豆地方を震源とするマグニチュード7.3の北伊豆地震が発生した。
- ・この地震で特筆されるのは、当時工事中であった東海道線丹那トンネル内に変位量2.7mの左横ずれ地震断層が出現したこと。
- ・このため、当初直線で設計されていたトンネルは、この地殻変動で直線ではつながらなくなり、トンネルの中央部でS字にカーブするように設計変更されたそうです。
- ・この地震により静岡県三島市で震度6を観測したほか、東北地方から九州地方にかけての広い範囲で揺れを感じた。
- ・被害は死者272人。全壊家屋2,165棟。山崩れ、崖崩れ多発。
- ・北伊豆地震が発生する前に周辺で活発な地震活動がみられており、この年の2月13日から北伊豆地震の南東約20kmの伊東市付近で群発地震が発生。6月以降は少なくなったが、11月7日になって伊東市付近の震源域とは異なる、後に北伊豆地震が発生する地域で地震が多発するようになった(図参照)。
- ・11月7日からの地震活動は、今後、大きな地震発生につながる恐れがあると判断した気象庁は、現地に臨時観測点を設置する準備をしている最中の11月26日に北伊豆地震が発生した(この当時から機動的な観測を実施していたようです)。
- ・現在、北伊豆地震の震央付近の地震活動は静穏な状態で、M4を超える地震は1930年以降発生していない。

